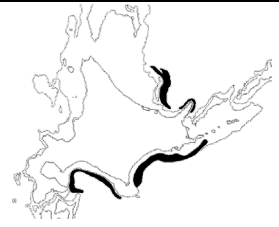
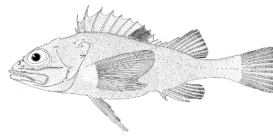


25.キチジ

主な漁業と漁期
 沖合底びき網：10～翌3月
 刺し網：周年



北海道周辺 (太平洋・オホーツク)

生態

◆分布・回遊

北海道周辺では太平洋海域及びオホーツク海域の大陸棚斜面に分布します。短期間には大きな回遊は行わず、根付性が強いと考えられています。

◆産卵期・産卵場

◎産卵期は、3～5月とされています。

◎太平洋側の産卵場は、恵山海丘、襟裳岬沖、釧路沖、落石沖の水深400～850m前後に形成されると推測されています。オホーツク海の産卵場は特定されていません。

◆成長・成熟

(4月時点)

	体長(cm)	体重(g)
1歳	6	6
2歳	10	25
3歳	13	60
4歳	16	100
5歳	18	150

*) 太平洋海域分
 *) 我が国周辺水域の漁業資源評価(平成25年度)
 *) 加齢の基準日：4月1日

◎成熟年齢・体長

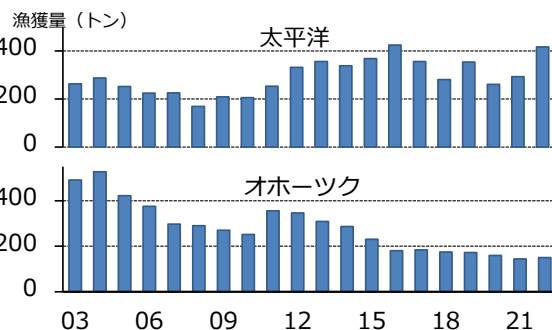
- ・オス：2歳から成熟する個体がみられ、体長20～21cm以上で半分以上が成熟します。
- ・メス：体長15cm、3～5歳から成熟する個体がみられ、体長24cm以上で半分以上が成熟します。

資源評価

[評価年] 1月～12月

[来遊水準の指標] 漁獲量

2022年度の北海道周辺海域におけるキチジの漁獲量は、太平洋海域では417トンで前年より増加、オホーツク海では150トンでほぼ前年並でした。漁獲量を指標値とした来遊水準指数は、太平洋海域で高水準、オホーツク海海域では低水準と判断されました。



2022年度
 の水準 太平洋
 高水準 林-ツク
 低水準

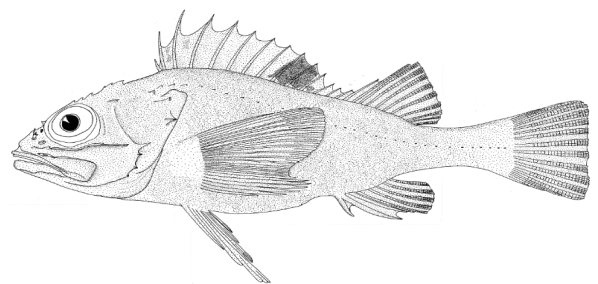
2023年度
 の動向 不明(概要報告)

道総研が受託している国の資源評価調査のデータも利用して評価しています。

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

漁業権行使規則で漁具の制限等を定めています。



☆来遊状況を注視し、持続的に資源を利用していくことが重要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
 北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0143-22-2327